

博報堂生活総合研究所調べ これから3ヶ月間の「消費意欲指数」

2月からの消費意欲指数 **57.3** 点

前回調査(11月 58.6点)より1.3点減少

消費意欲指数とは・・・全国の一般生活者6,000名に対し、2月上旬時点で「消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたのこれから3ヶ月間の消費意欲は何点ぐらいでしょうか?」と質問した結果が、「2月からの消費意欲指数」です。次回発表は2012年5月を予定しています。

1. エリア分析 正月消費の反動と節約志向で消費意欲はダウン。

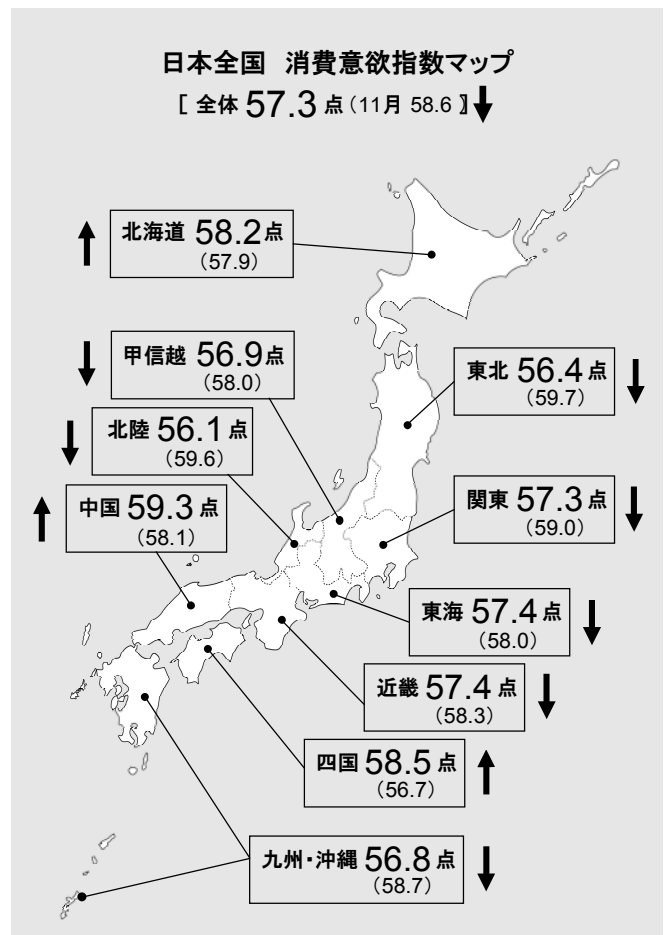
2月上旬に調査した「これから3カ月間(2月上旬～5月上旬)の消費意欲指数」の全国平均は前回(11月上旬調査)より1.3点減少し、57.3点でした。北海道、中国、四国を除く7地域で前回は下回りました。

指数が低かった理由を生活者の声でみてみると、年末年始で高まった消費意欲の反動が目立ちます。また、長引く景気の低迷や所得の減少を背景とした節約志向の高まり、議論が活発になってきた消費税増税の動きなど、先行き不透明な社会情勢があげられます。一方、消費意欲指数が高い人の声としては、就職などで新生活が始まる、春に向けてお洒落、ファッションなどにお金を使いたい、という意見が多くなっています。

地域別でみると最も高かったのは中国で59.3点、2位は58.5点の四国でした。前回トップだった東北は56.4点となり10地域中9位で、前回より3.3点の減少です。また、過去3回59点台と高い水準を維持していた北陸が、前回より3.5点減少し56.1点で最下位となりました。東北、北陸の指数の低さは、例年を上回る大雪や厳しい寒さの影響もありそうです。特に東北では、雪や寒さで消費意欲が湧かない、という声が他地域より目立ちます。

《生活者の声》

- 年末年始で使いすぎたので引き締めないと(50点・女性34歳・神奈川県)
- 必要なものだけ消費し無駄なものを節約しようという気持ち強い(40点・女性37歳・大阪府)
- 増税など社会負担の増加が予想され消費を抑えないと(30点・男性56歳・茨城県)
- 春に向けていろいろ新調したい(90点・女性21歳・北海道)
- 寒いので気持ちが盛り上がり(50点・女性28歳・宮城県)



※()内は前回(11月)の点数。↑は前回比較でプラス、↓はマイナスを示す。

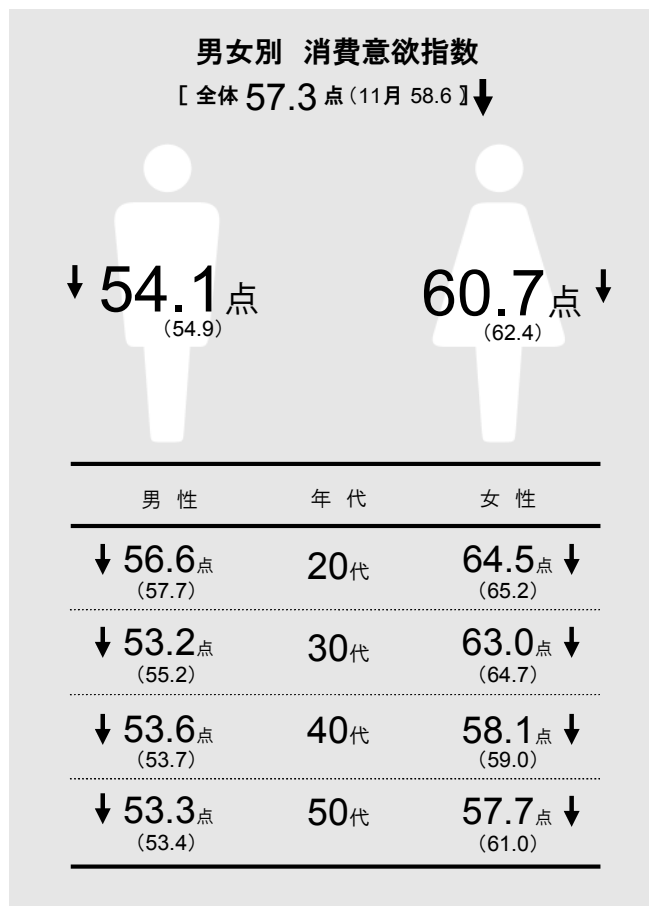
2. 男女分析 男女ともに全年代で消費意欲がダウン。

男女別の消費意欲指数をみると、男性が0.8点減少し54.1点、女性が1.7点減少の60.7点で、ともに前回より減少しました。男女年代別でも全年代で前回は下回り、男性30代は53.2点と調査開始以来、最低の指数となりました。また、前回初めて60点を越えた女性50代も前回より3.3点減少し、57.7点と前々回の水準に戻りました。

生活者の声をみると、女性ではファッションや外出など春に向けての消費に積極的な声が20代を中心に聞かれますが、一方で、年末年始消費の反動や、30代で目立つ節約志向が消費意欲を抑えているようです。男性では春消費をあげる人が女性に比べ少なく、加えて節約志向の人は女性同様多くなっており、これが男性の消費意欲指数の低さにつながっています。また、景気低迷の懸念や消費税増税に関する政府の動きなどの先行き不安も、特に男性40代、50代の消費意欲を鈍らせている原因のひとつになっていると思われます。

《生活者の声》

- これから春になるので欲しいものが増えるし、セールも始まるので(95点・女性27歳・埼玉県)
- ますます生活しにくい時代なので節約したい(30点・女性31歳・静岡県)
- 消費よりも節約。ない袖は振れません・涙(40点・男性28歳・福岡県)
- 給料は上がらず、消費税は上がりそうなので買い控えたい(40点・男性45歳・東京都)



※()内は前回(11月)の点数。↑は前回比較でプラス、↓はマイナスを示す。

参考資料

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたのこれから3ヶ月間の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？

< 消費意欲指数時系列一覧表 ～エリア別・性年代別～>

※2月調査のスコアで、前回(2011年11月のスコア)比がマイナスの項目に網掛け。

		2011年			2012年
		5月	8月	11月	2月
全体		57.4	56.6	58.6	57.3
エリア別	北海道	56.1	55.1	57.9	58.2
	東北	55.4	56.5	59.7	56.4
	関東	57.5	56.4	59.0	57.3
	甲信越	58.8	55.1	58.0	56.9
	北陸	59.3	59.4	59.6	56.1
	東海	56.6	57.4	58.0	57.4
	近畿	57.9	56.6	58.3	57.4
	中国	57.5	57.7	58.1	59.3
	四国	56.3	57.8	56.7	58.5
	九州・沖縄	57.9	56.8	58.7	56.8
男性	全体	54.1	53.5	54.9	54.1
	20代	58.0	55.0	57.7	56.6
	30代	54.4	55.1	55.2	53.2
	40代	52.4	51.7	53.7	53.6
	50代	52.2	52.3	53.4	53.3
女性	全体	60.6	59.9	62.4	60.7
	20代	64.7	62.9	65.2	64.5
	30代	62.4	61.5	64.7	63.0
	40代	57.8	57.9	59.0	58.1
	50代	58.3	57.5	61.0	57.7

(単位:点)

調査概要

調査地域 全国47都道府県

調査手法 インターネット調査

調査対象 20歳から59歳までの男女6,000サンプル(有効回収数)

人口構成比を反映するよう、エリア別に性年齢10歳刻みで割付

合計	男性	20代	30代	40代	50代	女性	20代	30代	40代	50代
6,000	3,031	654	839	779	759	2,969	623	819	767	760

合計	北海道	東北	関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄
6,000	262	434	2,052	244	137	707	976	337	178	673

調査時期 2012年2月1日(水)～3(金)

毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施

企画・分析 博報堂生活総合研究所

実施・集計 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(小原・吉川) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(山野・藤井) TEL.03-6441-6161